

### 農商工連携で、新商品を開発 農業経営の底上げを

**問** 最近、食の安全  
安心や不況下での  
雇用の場として、農業  
分野への関心が高まっ  
てきているが、本市で  
は「農業王国」の「みや  
を掲げ、農商工連携事  
業に取り組み、成果を  
上げている。

しかし、農家の高齢  
化など、農業を取り巻  
く環境は厳しく、農業  
経営の底上げが必要で  
あるので、広い分野で食  
農とを結びつけた、積  
極的な施策に取り組み  
必要がある。

そこで、次の2点に  
ついて伺う。  
①これまでに取り組  
んできた農商工連携事  
業の内容は。  
②今後取り組もうと  
している施策は。

**答** ①平成18年度か  
ら「うつのみやア  
グリネットワーク推進  
事業」に取り組み、農商  
工業者それぞれが持つ



▲宇都宮産の果実カクテル

情報  
の共  
有化  
を図  
るた  
めの交流会の開催や研  
究会の設置により、会員  
同士の連携を強化した。  
その結果、35にのぼる  
新たな商品やサービス  
が創出され、そのうち3  
つのプロジェクトは「農  
商工連携促進法」に基づ  
く国の認定を受け、本市  
の取り組みは高水準に  
あると受け止めている。  
また、消費者への情  
報発信を目的に、農林  
業祭や首都圏での商談  
会にも出展し、PRに  
努めてきた。

②アグリネットワー  
クの会員に対し、経営  
面やマーケティング面  
でのアドバイス機能の  
充実を図るとともに、様々  
な分野のニーズに応え  
る新商品やサービスの  
創出に向け、会員への  
誘導策を検討していく。

### 地域みんな健康遊具で 気軽に楽しく健康づくり

**問** 本市では、高齢  
者の健康づくりの  
推進を掲げており、公園  
には、子ども向け遊具以  
外に、高齢者向けの健康  
遊具を設置している。

他市では、ホームペ  
ージを活用し、健康遊具  
の利用を、普及啓発して  
いる例もあるので、本市  
でも、子どもからお年寄  
りまで気軽に楽しく利  
用できるように利用方法  
を紹介してはどうか。

また、市民の健康づ  
くりや介護予防、地域の  
コミュニティづくり、  
公園の健康遊具を活用  
することは、とても重要  
であるので、今後どのよ  
うに有効活用し、普及啓  
発していくのか伺う。

**答** 本市では、公園  
の新設や遊具の更  
新の際に、地元自治会  
等と意見交換を行い、  
要望があつた公園には  
これまでに、健康遊具  
を29公園に118基設置し

てきた。健康遊具の活  
用は、体力の向上や介  
護予防、地域主体の健  
康づくりに効果が期待  
できるので、今後は種類  
利用方法、利用効果な  
どをホームページや広  
報紙に掲載するほか、様々  
な機会をとらえ周知に  
努めていく。  
また、公園に健康遊  
具が設置されている自  
治会や「健康づくり推  
進組織」を対象に、体験  
教室を開催するととも  
に、「健康づくり推進組  
織」が作成するウォー  
キングマップにも、設  
置されている公園を盛  
り込み、より一層の利  
用促進を図る。



▲市内の公園に設置された健康遊具で遊ぶ親子

### とちぎ食の回廊構想 宇都宮版「食の街道」を設定

**問** 本市の進める「ア  
グリネットワーク  
事業」と「食の街道づく  
り」を連携して推進す  
ることによって、さら  
なる農作物の需要拡大  
と産業の振興につなが  
ると考えるが、今後、本  
市では「とちぎ食の回  
廊構想」にどのように  
関わっていくのか、また  
農商工に携わる人々が  
担う役割について、見  
解を伺う。

栃木県が策定し  
た「とちぎ食の回廊  
づくり戦略」では、地域  
の食にこだわった「食  
の街道」づくりと、各地  
域の「食の街道」を相互  
に連携させ、相乗効果  
の発揮も狙った「とち  
ぎ食の回廊」の戦略的  
な展開に取り組むこと  
とし、これまでに8つ  
の街道が創られている。

本市では、商工会議  
所や農協、市などが参画  
する「宇都宮食の街道推  
進協議  
会」が  
本年4  
月に設  
立され  
都市ブ  
ランド  
の向上  
を図るため宇都宮の魅  
力やイベントなどの情  
報発信、餃子やカクテル  
、地場農産物など、地域資  
源を活用した取り組み  
を計画している。本市と  
しても、協議会と一体と  
なって推進し、とちぎ食  
の回廊づくり戦略に貢  
献できるよう努めていく。

また、農商工業者の  
皆様には、「食の街道」  
づくりに参画され、旬  
の地場農産物を活用し  
たおいしい食の提供や、  
アグリネットワークに  
おいて、それぞれのノウ  
ハウを最大限に発揮  
され、新商品等の開発  
や製造、販売等に尽力  
されるよう期待してい  
る。



▲【食の街道】のロゴマーク